

令和3年度 指定管理施設運営状況評価表

1. 施設の概要

施設の名称	むつ市脇野沢リフレッシュセンター鱈の里	
指定管理者	団体名	一般社団法人むつ市脇野沢農業振興公社
	代表者	理事長 小 田 晃 廣
	所在地	むつ市脇野沢七引201番地5
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年間）	
指定管理業務の概要	(1) 交流事業等による地域の活性化 (2) 施設、設備の提供 (3) 施設の使用許可、使用に係る料金徴収 (4) 施設の維持及び修繕	

2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。

単位：千円

区 分	計 画 額 ①	実 績 額 ②	増 減 (②-①)
収 入 合 計 (A)	8, 1 1 7	8, 1 1 7	0
うち利用料金額	0	0	0
うち指定管理料	8, 1 1 7	8, 1 1 7	0
支 出 合 計 (B)	8, 1 1 7	6, 1 0 2	△ 2, 0 1 5
うち人件費	3, 9 8 8	3, 2 8 8	△ 7 0 0
収支差 (A-B)	0	2, 0 1 5	2, 0 1 5
市への納入金	0	0	0
計画額と比較した実績額の増減理由	・人件費、消耗品費の経費節減による減		

3. 施設利用の状況

単位：人

	区 分	計 画 ①	実 績 ②	増 減 (②-①)
利用者数	鱈の里入館者数	30, 000人	11, 387人	△18, 613人
	調理実習室利用日数	0日	0日	0日
利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施（有・無） コロナウイルス感染症対策のため9月に閉館を余儀なくされ、結果利用者が、減少となった。 利用者へは、脇野沢地区やむつ・下北の観光案内を行った。				

4. 自主事業の実施業況

単位：人、千円

事業名	利用者数	収入	支出
物産販売事業（4/1～11/30）	6,000	5,255	4,769

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価（A：優良 B：適正 C：改善要）

評価項目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
①開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	B	B
②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	B	B
④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	B	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	B	B
②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	B	B
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	B	B
②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	B	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	B	B
③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	B	B
④利用料金の収受及び施設管理費の支出は適正であったか。	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	B	B
②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	B	B
③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	B	B
④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B

6. 指定管理者総合評価

リフレッシュセンター鱈の里は、「道の駅わきのさわ」としても利用されており、来訪者が気持ち良く利用できるよう芝サクラ等の植栽を行い、環境整備に努めた。
また、新型コロナウイルス感染症対策を行い、観光客等へニホンザルやカマイルカのPRに努めるとともに漁師カードを使い、地元水産加工物のPRも行った。

7. 市の所管課総合評価

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策のための施設閉鎖や利用者制限があったことで、利用者が減少している中、経費削減に努め不況に柔軟に対応された。また、丁寧な清掃作業により、施設内は常に清潔に保たれていた。さらに芝サクラ等の植栽をしたことにより、利用者により気持ちよく施設を使っていただくことができたと考える。他に、地域ならではの野生動物や水産加工物のPRを積極的に行っていたので、今後もさらなるPRや販売促進に努めていただきたい。